

平成 30 年 8 月 19 日(日)

於 サンプラザ栃木

p m 1 : 0 0 ~

歯科臨床のための機能解剖学

- 1) 口腔内小手術、インプラント治療のために知っておきたい解剖学
- 2) 総義歯作成のために知っておきたい解剖学(高齢者の咀嚼・嚥下機能を含めて)

東京歯科大学解剖学講座 阿部伸一

< 抄 録 >

演者は口腔内小手術、インプラント治療の際に必要な《臨床医が知らなければならないチェックポイント》をかねてより提唱してきました。チェックポイントを理解するための重要な項目として、まずはじめに、顎骨の歯牙喪失後の形態変化によって顎骨周囲、顎膏肉部の神経、血管、筋、唾液腺組織など軟組織の位置関係が、口腔内からどのような部位に位置するように変化するかについて解説します。安全・確実に口腔内小手術、インプラント治療を行うために必須の知識です。

また口腔機能の健全な発達、そのメカニズムについて "コスメティック"的な要素も含め解説します。さらに口腔機能の知識の延長にある 「総義歯作製の勘所および関連する高齢者の咀嚼・嚥下機能」に関し、解剖学的側面から考えてみたいと思います。